

平成29年度

事業報告書

社会福祉法人 南幌苑
障がい者支援施設 南幌めぐみ学園
共同生活援助 ハイツ ひまわり

1. 法人の事業運営

社会福祉法人制度改正により、平成29年4月から理事会・評議員会の経営組織が新体制となり、平成28年度決算より再投下可能財産（社会福祉充実残額）を明確にして、社会福祉充実計画を策定することが求められ、既存事業の充実や新たな取組について平成29年から5年間の中期計画を立案した。1か年目である平成29年度は入所・短期ご利用者の居室の一部個室化、内装改修のほか、本館外装、前庭外構整備を行いご利用者が安心して生活、利用できる環境整備を行った。また、2か年目に計画している就労作業棟、喫茶棟新築に伴う旧南幌幼稚園土地を購入した。

制度改正により法人の使命として求められた、地域における社会貢献の取り組みとしては、手袋編機を活用し、地域の幼稚園・保育所などに提供するほか、交通安全、防犯対策等の啓発事業に活用した。また、公益財団法人日本財団が運営する社会貢献自動販売機「夢の貯金箱」により、売上の一部を困難な生活をされている方々に利用していただく事業に協力を行いました。その他、学園祭やスポーツ大会の開催と併せて施設の開放を積極的に行い、地域住民が気軽に利用でき、交流を通じて法人の基本理念を理解していただけるよう努め、ご利用者による学園周辺の道路清掃、高齢者世帯の除雪、南幌町や高齢者施設への干支関連の作品等の寄贈を引続き実施した。

法人としても役員・職員の研修として、「福祉と行政のあるべき姿」と題し、上坂月形町長（前月形町雪の聖母園常務理事）より、今後期待される「町づくり」「施設づくり」について、及び「虐待防止と権利擁護」についてご講演を受け、制度改正フォローアップ研修として「これからの社会福祉法人について」と題して、北海道保険補償の石山代表取締役よりご講演を受けた。

また、全国的に障がい者への虐待に係る報道が止まることなく続き、当法人でもご利用者への支援の充実のため、職員研修として虐待防止研修会「障がい者の虐待防止について」と題し、北海道知的障がい福祉協会、権利擁護委員の白戸氏によりグループワークを通じ事例を用いて研修を受けた。

その他、社会福祉協議会や道内外の知的障がい関係団体の開催する多くの外部研修への参加により障がいに関する理解や障がい者の虐待をはじめ人権・権利擁護に関する認識を深めるとともに、毎月の職員個々の業務振り返りチェックシートを活用し、より高い意識と行動規範をもって障がいを理由とする差別を解消するため職員の意識の向上、スキルアップに努めた。

今後も、法人として地域住民やご利用者、ご家族から親しまれる地域に根付いた法人であることを目指し、確実な事業展開を行い、より一層良い環境づくりに努める。

・重点事業実施状況

1) 役員研修

○法人役員研修

- ・平成 29 年 5 月 13 日 役員・職員合同研修会
講演「福祉と行政のあるべき姿」
「虐待防止及び権利擁護について」
講師 月形町長 上坂隆一氏 体育館 役員・職員全員
- ・平成 29 年 6 月 24 日 役員研修
講演「これからの社会福祉法人について」
講師 北海道保険補償 代表取締役 石山 忠氏
体育館 役員全員
- ・平成 29 年 8 月 3 日
社会福祉法人ブロックセミナー 札幌市 理事長
- ・平成 29 年 10 月 27～28 日
北海道・東北ブロックセミナー
札幌市 常務理事 理事 事務局

2) 職員研修

○施設内研修

- ・平成 29 年 4 月 22 日 虐待防止研修会
講演「障がい者の虐待防止について」
講師 北海道知的障がい福祉協会
権利擁護委員 白戸浩雅氏 体育館 職員全員
- ・平成 29 年 7 月 12 日 救急救命講習・喉つまり応急処置研修
講師 南幌消防署員 2 名 体育館 職員全員
- ・平成 29 年 10 月 4～6 日 感染症予防実技研修会（演習）
体育館 職員全員
- ・平成 29 年 11 月 28 日 めぐみ会・めぐみ学園合同研修会
講演「利用者を守る保健制度の説明」
講師 北海道保険補償 代表取締役 石山 忠氏
札幌市 家族 16 名 職員 8 名 計 26 名

○施設外研修

北海道社会福祉協議会や道内外の知的障がい関係団体が開催す

る研修会等に参加し、職員の資質向上に努めた。

3) 規程等の制定・改正

- ・定款変更 … 平成 30 年 1 月一部改正
- ・評議員選任・解任委員会運営細則 … 平成 29 年 4 月制定
- ・定款細則 … 平成 29 年 4 月一部改正
- ・経理規程 … 平成 29 年 4 月一部改正
- ・給与規程 … 平成 29 年 4 月一部改正
- ・各事業運営規程 … 平成 29 年 4 月一部改正

4) 大規模修繕・施設整備関係

- ・めぐみ学園 居室改修工事 (16 室、娯楽室、医務室、静養室)
- ・めぐみ学園 南側外壁塗装工事
- ・めぐみ学園 食堂・厨房内冷房設備工事 (めぐみ会一部助成)
- ・めぐみ学園 前庭外構工事
- ・めぐみ学園 居室内カーテン取付工事
- ・旧南幌幼稚園建物・土地の購入

5) 補助事業

- ・共同募金「施設活動支援事業」
パイプ式テント 1 式 3 張

6) 地域における社会貢献の取り組み

- ・職員、ご利用者による学園周辺、地域周辺の道路清掃
- ・職員、ご利用者による高齢者世帯の除雪
- ・南幌町や高齢者施設への干支のウッドパズル等の寄贈
- ・学園祭やスポーツ大会の開催と併せて施設の開放を積極的に行う
- ・幼稚園・保育所に自作手袋の提供
- ・交通安全、防犯対策等の啓発事業

・実施事業

○障がい者支援施設南幌めぐみ学園

定員	施設入所支援事業	50名	(現員49名)
	生活介護支援事業	60名	(現員55名)
	就労継続支援B型	10名	(現員7名)

○短期入所事業 (併設) 定員 5名

○共同生活援助事業所 ハイツひまわり 定員 5名

○日中一時支援事業 定員 5名

2. 理事会・評議員会の開催及び監査の実施状況

平成 29 年度においては理事会 7 回、評議員会を 4 回開催し、監事による実施監査を 4 回受けた。

1) 理事会

開催年月日	会 議 内 容
平成 29 年 4 月 1 日	第 178 回理事会 1. 議事 議案第 1 号 社会福祉法人南幌苑理事長の選任について 2. その他 1) 次期理事会の開催について
4 月 17 日	第 179 回理事会 1. 議事 議案第 1 号 社会福祉法人南幌苑常務理事の選任について 議案第 2 号 社会福祉法人南幌苑補充理事 1 名の選任について 2. 報告事項 1) 平成 29 年度実施事業に係る共同募金助成決定について 3. その他 1) 今後の理事会の開催予定について
5 月 29 日	第 180 回理事会 1. 議事 議案第 1 号 平成 28 年度法人及び施設事業報告について 議案第 2 号 平成 28 年度社会福祉事業会計の収支決算報告について 議案第 3 号 社会福祉法人南幌苑 役員（理事・監事）の選任について 議案第 4 号 社会福祉充実計画の策定について 議案第 5 号 社会福祉法人南幌苑 建設設計監理業者の選定について 2. 報告事項 1) 平成 28 年度第 4 回（決算）内部監査結果報告について 2) 平成 28 年度社会福祉施設整備事業（防犯設備）完了について

開催年月日	会 議 内 容
平成 29 年 5 月 29 日	<p>3. その他</p> <p>1) 社会福祉法人南幌苑 建設委員会委員並びに事業推進委員会委員の選任について</p> <p>2) 今後の理事会の開催予定について</p>
6 月 15 日	<p>第 181 回理事会</p> <p>1. 議事</p> <p>議案第 1 号 社会福祉法人南幌苑理事長の選任について</p> <p>議案第 2 号 社会福祉法人南幌苑常務理事の選任について</p> <p>議案第 3 号 社会福祉法人南幌苑相談役の選任について</p> <p>議案第 4 号 南幌めぐみ学園 食堂・厨房内冷房設備工事について</p> <p>議案第 5 号 南幌めぐみ学園 居室改修工事について</p> <p>2. 報告事項</p> <p>1) 社会福祉法人南幌苑役員（理事・監事）の選任について</p> <p>2) 社会福祉充実計画の策定について</p> <p>3. その他</p> <p>1) 次回理事会の開催予定について</p>
8 月 1 日	<p>第 182 回理事会</p> <p>1. 議事</p> <p>議案第 1 号 社会福祉事業会計積立資産取崩調整について</p> <p>議案第 2 号 平成 29 年度社会福祉事業会計資金収支補正予算書（案）について</p> <p>議案第 3 号 南幌めぐみ学園 居室改修工事について</p> <p>議案第 4 号 南幌めぐみ学園 前庭外構工事について</p> <p>2. 報告事項</p> <p>1) 2017 年度日本財団福祉車両助成事業申請について</p> <p>2) 社会福祉充実計画の所轄庁の承認について</p> <p>3) 平成 29 年度第 1 回内部監査（6 月末）の結果報告について</p> <p>3. その他</p> <p>1) 今後の理事会の開催予定について</p>

開催年月日	会 議 内 容
平成 29 年 11 月 20 日	第 183 回理事会 1. 議事 議案第 1 号 旧南幌幼稚園 土地売買契約・建物無償譲渡契約の締結について 議案第 2 号 社会福祉法人南幌苑 定款の一部改正について (案) 議案第 3 号 南幌めぐみ学園 医務室・静養室の改修工事について 議案第 4 号 南幌めぐみ学園 前庭舗装追加工事について 議案第 5 号 南幌めぐみ学園 30 周年記念事業に伴う現況測量並びに地質調査の実施について 2. 報告事項 1) 平成 29 年度第 2 回 (9 月末) 内部監査結果報告について 2) 平成 29 年度全国社会福祉協議会会長表彰における被表彰者の決定について 3. その他 1) 理事会 欠席役員に対する対応について 2) 今後の評議員会、理事会の開催予定について
平成 30 年 2 月 8 日	第 184 回理事会 1. 議事 議案第 1 号 南幌めぐみ学園 30 周年記念事業新築工事について 議案第 2 号 南幌めぐみ学園 (本館・ふれあい) 内装工事について 議案第 3 号 南幌めぐみ学園 居室内カーテン取付工事について 2. 報告事項 1) 平成 29 年度第 3 回内部監査結果報告について 2) 平成 29 年度社会福祉施設に係る指導監査結果について 3) 社会福祉法人南幌苑 定款変更認可について 4) 2017 年度日本財団助成金申請に対する審査結果について 3. その他 1) 今後の理事会の開催日程について

開催年月日	会議内容
平成 30 年 3 月 19 日	第 185 回理事会 1. 議事 議案第 1 号 平成 29 年度社会福祉事業会計補正収支予算 (案) について 議案第 2 号 平成 30 年度社会福祉法人南幌苑事業計画 (案) について 議案第 3 号 平成 30 年度社会福祉事業会計収支予算 (案) について 議案第 4 号 南幌めぐみ学園 30 周年記念事業新築工事に ついて 議案第 5 号 社会福祉法人南幌苑福祉サービス相談委員 及び虐待防止委員の任期満了に伴う委員の 選任について 議案第 6 号 社会福祉法人南幌苑 事業別運営規程の一 部改正 (案) について 議案第 7 号 職員採用及び人事について 議案第 8 号 永年勤続職員の表彰について 議案第 9 号 南幌めぐみ学園 利用者玄関サッシ改修工 事について 議案第 10 号 南幌めぐみ学園 男女娯楽室エアコン設備 工事について 2. その他 1) 役職員研修の開催予定について 2) 今後の理事会の開催予定について

2) 評議員会

開催年月日	会 議 内 容
平成 29 年 4 月 24 日	第 41 回評議員会 1. 議事 議案第 1 号 社会福祉法人南幌苑 補充理事 1 名の選任 について 2. その他 1) 次期評議員会の開催予定について
6 月 14 日	第 42 回評議員会 1. 議事 議案第 1 号 平成 28 年度法人及び施設事業報告について 議案第 2 号 平成 28 年度社会福祉事業会計の収支決算報 告について 議案第 3 号 社会福祉法人南幌苑 役員（理事・監事）の 選任について 議案第 4 号 社会福祉充実計画の策定について 2. 報告事項 1) 平成 28 年度第 4 回内部監査（決算）の結果報告につい て 2) 平成 28 年度社会福祉施設整備事業（防犯設備）完了に ついて 3. その他 1) 今後の評議員会の開催予定について
12 月 9 日	第 43 回評議員会 1. 議事 議案第 1 号 社会福祉法人南幌苑 定款の一部改正（案） について 議案第 2 号 社会福祉充実計画の変更に係る届出につい て 2. その他 1) 次期評議員会の開催日程について

3) 監事監査

開催年月日	会議内容
平成 29 年 5 月 25 日	平成 28 年度第 4 回内部監査 (決算)
7 月 20 日	平成 29 年度第 1 回内部監査 (6 月末)
10 月 25 日	平成 29 年度第 2 回内部監査 (9 月末)
平成 30 年 1 月 23 日	平成 29 年度第 3 回内部監査 (12 月末)

4) 空知総合振興局による指導監査

- ・ 監査日時 平成 29 年 10 月 11 日 (水)
午後 1 時 30 分～午後 4 時 00 分
- ・ 監査対象 障がい者支援施設南幌めぐみ学園
施設入所・生活介護・就労継続支援 B 型
南幌めぐみ学園 (短期入所)
ハイツひまわり (共同生活援助)
- ・ 監査担当者 保健環境部社会福祉課
事業指導係長 山田 正巳
専門主任 奥村 美樹
- ・ 監査結果 指摘事項無し

平成29年度 南幌めぐみ学園事業報告書

I 概況

1. 運営概況

1) 運営全般

入所施設のアドバンテージであるADLをはじめ、夜間の睡眠状況や休日・余暇の実態を包括的に把握し、ご利用者個々の気持ちを十分理解しながら支援することができた。さらに、ご利用者への質の高いサービスの提供を目指し、強度行動障がい支援者養成研修に参加し職員の資質向上を図り、ご利用者が生き生きと安全に、安心して日々の生活ができるよう努めた。

行事関連においては、ご利用者やご家族・地域ボランティアの参加とご協力を得て、スポーツ大会・学園祭等の行事を実施した。

また道外宿泊旅行は、四国方面へ行き総数18名が参加、さらに道内宿泊研修旅行は層雲峡温泉朝陽亭に宿泊、総数107名が参加された。その他各行事への多くの参加を通して相互に意見・情報交換することができた。

2) ご利用者の動向

①ご利用者の概況 ※ 資料「利用者の状況」参照

II ご利用者支援

1. 障がい者支援サービス

1) 施設入所・通所支援

日中活動としてはご利用者一人ひとりの思いに寄り添いながら、毎日が新鮮な一日になれるよう外出支援をはじめとし、身体機能の維持・向上の取り組みや日常生活の中で充実感が得られるようエンパワメントを引き出すサービス提供に努めた。

居室の利用では、全居室の床をフラットにする改修工事を行い、バリアフリーにして生活しやすい環境づくりを行った。また、年齢や障がいの程度・相性などによる住み分けや地域生活移行（グループホーム他）を目指しての生活支援に取り組んだ。ご利用者個々の支援についても個別支援計画にそって定期的にモニタリングをおこない、共通認識のもと、その時々状況に合わせた支援を行った。

2) 日中活動支援

生活介護支援事業は、高齢化・重度化の流れの中で自閉症・自閉傾向の障がいの重い人や強度行動障がい（パニック等）・身体障がいとの重複障がいにおいて、リハビリ訓練やストレッチ、ウォーキングなど身体機能維持・体力増進に向けて行なってきた。

生活訓練科は創作活動で和紙工芸や縫製品の制作及び、軍手制作に取り組み、南幌町内外のイベント、元気ショップいこ〜る（札幌市）にて販売し、絵画や貼り絵等の作品は展示会に出展した。日常生活に必要な訓練・支援（歯磨き・ひげそり・整容・洗濯・整理整頓等）を個別に取り組んできた。

紙器加工科は通年で下請け業者（ポロトナ、北辰フーズ、山東印刷）からの箱折り各

種・菓子詰めなどの委託作業を行ない継続してきた。また広教資材（町内）からの下請け作業なども行った。

農産科は前期に畑作業（じゃがいも・ミニトマト・豆類・かぼちゃ等の栽培）と環境整備、また、町からの委託作業のペットボトルのキャップ回収など取り組んできた。収穫した農産物は、食事の中で提供したり、町内のイベントにて販売した。

3) 就労継続支援

就労継続支援B型事業は、継続して以前からの長期実習先であるスリービーに3名が自立生活を目指して実習に取り組んだ。

セブンイレブンのごみ分別委託作業には、女子1名が取り組んだ。

それぞれに何らかの課題は残るものの「働くこと」を通して、厳しさを学び社会生活能力を養ってきた。

菓子工房もぐもぐは3名が手作りクッキーなどの焼き菓子づくりとコーヒーの宅配サービスを行なった。手作りクッキーは南幌町観光協会、セブンイレブン、いこーるにて販売された。

4) 余暇支援

余暇活動ではご利用者の年齢や身体状況・嗜好やニーズを十分考慮し、南幌町内のイベントや近隣の他施設の行事や催事などに積極的に参加した。

またスポーツ大会では保護者ご家族との交流だけでなく、地域の方々・ボランティアの方々との交流を深めることができた。

園内では、焼肉パーティー・餅つき・忘年会・新年会・節分などの季節の行事を行ない、土日には体育館でゲーム、カラオケなどを楽しんだり、散歩に出掛けたりした。

道外宿泊旅行は四国方面へご利用者8名、ご家族6名、職員4名が参加し、さらに道内宿泊研修旅行は層雲峡温泉ホテル朝陽亭に宿泊、ご利用者49名・ご家族36名・職員22名の107名が参加した。

スポーツ活動では、南幌町福祉スポーツ大会に参加し、ソフトボール・パークゴルフ・卓球等の種目で空知知的障がい福祉協会の大会に参加した。また札幌ドームでのティーボール大会では、ご利用者14名、家族10名が応援に駆け付けて競技に参加した。

5) 苦情解決

ご利用者からの苦情は常設の投書箱にて随時受け付けると共に、日常的にも個々のご利用者の訴えをよく聞き、その悩みや相談、抱えている問題に関し職員が共に認識をもつよう努めた。今年度はご家族からの苦情が1件あり、マニュアルにそって対応し納得された。

職員には「人権侵害ゼロへの誓い」署名を実施し、虐待防止や権利擁護について、研修会を開催したり、各種会議でも繰り返し周知徹底を図っている。

6) 保健衛生・医療

年2回の健康診断および毎月の身体測定・歯科訪問診療・皮膚科往診・女性は希望により乳がん子宮がん検診を実施。日常の健康管理に関しては町立病院や北広島メンタルクリニック主治医（穴澤医師）による問診のほか、看護師が体調確認、個別面談を行っ

た。毎月の身体・血圧測定のほか医師の指示等で定期的なバイタルの測定や排泄確認が必要な方は個々に記録を報告した。高齢化や重度化などの要因に伴い、通院回数は増加している。

今年度もインフルエンザ予防接種を全員が受け、重篤化しないための感染予防に努めた。また、感染症予防対策委員会を随時開催し、園内の清掃消毒、さらに手洗いの励行など予防対策を強化し、毎日欠かさず実施した。ノロウィルス等の食中毒に備えて嘔吐物の緊急処理用具を園内2か所に設置し、嘔吐時の処理の手順を学ぶ講習会を実施した。毎月の生活懇談会でご利用者に医療の指導を行い、病気や健康への配慮を促した。

7) リスクマネジメント

ご利用者の事故については、無断外出があったがすぐ対応して早期に発見保護しており、その後も、見守りの強化を図っている。転倒・ご利用者同士のトラブルによるケガ・破損事故が見られている。転倒事故の要因としては年齢や歩行機能低下によるものである。ご利用者同士のトラブルについては、情緒障がいの行動上の特徴である他者への攻撃性に起因するものでありご家族や医師と相談のうえ対応している。破損事故については特定のご利用者に限られているが、その多くはストレスが要因となっていると思われ、人間関係・生活環境の整備を行っている。ヒヤリハットとして報告し予防策や未然に防ぐための会議をその都度行なった。

(平成29年度の空知総合振興局・南幌町への事故報告は 5件)

8) 栄養管理・給食

食生活は、健康の保持増進と精神的安定を図るため、適切な食事摂取基準を満たした季節感のあるバランスのよい食事を提供した。

毎年1回のご利用者嗜好調査(アンケート)のほか、月例の給食会議の中でご利用者・職員から給食に関する意見や要望を聞き、食事満足度の向上のために検食簿などを参考にしながら給食内容の改善に努めた。健康診断・身体計測の結果から、ご利用者の心身の状況に関する情報を看護師・支援員と共有し、療養食や嚥下に配慮するなど適切に提供し毎月の生活懇談会でご利用者に栄養指導を行った。誕生膳や季節ごとの行事食の他、選択メニュー(複数献立)、ご利用者の目の前で調理を行うライブキッチンなど積極的に行なった。

9) 環境整備・防災

ご利用者が日々快適で安全な生活を送ることが出来るように、修繕や前庭等の整備と居住環境及び周辺的生活環境の整備に努めた。

防災に関しては、「防災計画」に基づいて毎月1回の避難訓練とご利用者と共に防災点検を実施した。春4月と秋10月に南幌消防署員立ち会いで総合避難訓練を実施し、地震想定・夜間想定にも取り組んだ。7月には救命救急講習を行い緊急時対応に備えた。

2. 対外業務

1) 福祉実習生及びボランティアの受け入れ

福祉の専門職として知識や経験を社会へ還元することを目的とし、大学や専門学校を中心に保育・福祉分野の実習生を積極的に受け入れ、次代を担う人材の育成に寄与した。

ボランティアに関しては、定期的訪問・学園行事等を通じて、地域のボランティア団体、音楽や文化のボランティアサークル、個人の学生ボランティア等の受け入れを継続して行ってきた。

○福祉実習生受け入れ	北海道介護福祉学校	4名
	南幌中学校職場体験	2名
	南幌高校インターンシップ	1名
	三幸学園こども専門学校	3名

○ボランティア受け入れ 延べ人数93名

2) 養護学校実習の受け入れ

学校関係者と連携し、養護学校中学部・高等養護学校の現場実習を受け入れた。

○現場実習生受け入れ	南幌養護学校中学部3年	3名
	夕張高等養護学校中学部3年	1名

3) 広報活動

学園の広報誌「南幌めぐみ学園だより」は7月・2月の年2回発行し、町内の地域住民には新聞折り込みにて配布、町外のご利用者ご家族や関係機関にも郵送している。「学園の近況について」を保護者に発送し、学園の取り組み状況のお知らせを行った。

3. 管理業務関連

1) 職員研修

障害者総合支援法関係の研修会や行政説明に役職員が参加し、情報収集に努めた。その他、職員の経験年数や職務内容を考慮し、北海道社会福祉協議会や道内外の知的障がい関係団体が開催する研修会や支援の実践に関する研修に参加し、援助技術や知識の習得と情報の収集に努めた。

※資料「事業実施経過」参照

2) 年間行事

概ね例年通りの日程内容で行事を実施した。

※資料「事業実施経過」参照

Ⅲ その他の事業報告

1. 短期入所事業・日中一時支援事業

1) 概況

短期入所事業の利用者については、前年に引き続き個々の体力、能力等を勘案し個別支援計画に基づき、施設利用者の日課等に合わせて支援を行い、在宅の知的障がい児・者の地域生活を支えるサービスとして、短期入所事業と日中一時支援事業を継続して行った。

2) 利用状況

新規短期入所利用は1名が年末年始の利用、他1名が毎月2週間程度の利用者がいた。日中一時支援利用については児童の低年齢化・障がいの重度化などによりマンツーマン対応による支援を行ってきた。職員配置の面では厳しい状況もあり社会的責任という視点から継続して受け入れてきた。

※資料「短期入所・日中一時支援利用状況表」参照

平成29年度 GHハイツひまわり 事業報告書

ご利用者の方が自分の生活ライフを自分で選び選択する事を一番に考え、個性や志向を出来る限り尊重し、地域生活が送れるように対人関係の調整や健康管理、金銭管理の支援を行った。

今年度は加湿器とストーブを購入し、より一層充実した生活を送ることができた。また、町内会行事にも積極的に参加され町内の方々と交流を図ることができた。

○家事への取り組み

週末（土・日）の食事は当番を決め、自分たちでメニューを考案、調理されていた。急な用事で当番を交代しなければならない場面もあったが他のメンバーが交代を快く引き受けてくれたためトラブルごとは一切みられなかった。またメニューのバリエーションも少しずつ増えており夏場には自分たちの畑で収穫した新鮮野菜を使い食事の献立の中に取り入れた。

誕生日は誕生者本人の好みのメニューを献立に取り入れてもらい皆さんからお祝いの言葉をいただき喜ばれておりました。また、外食や宅配なども楽しんでいました。

○清掃

共同スペースの当番はみんなで話し合っ決めてスムーズに行うことが出来ており世話人には清掃の再確認と不十分なところの清掃を一緒に行った。

自室の清掃は基本毎日行うこととなっているが週に一度清掃日を設け、出来る部分は自分で清掃、清掃が苦手なご利用者は世話人と一緒に取り組み清潔を心がけていた。

○対人関係

お互いを知り、慣れてくることによって仲間への不満や指摘事は多くなってくるものであり職員がいる時といない時で態度が異なる場面は時々見られていた。不満不平が聞かれた場合には世話人や支援員がご利用者の話を聞きだし早期解決に努めていた。

親しくなってきたゆえに甘えやわがままもでてきており、互いの性質や性格を理解していけるよう働きかけつつ、みんなの意見を聞く等話し合いの機会を設けた。

また時々職員同行のもと買い物・カラオケ・外食などで気分転換を図り、親睦を深めることができた。

○地域活動への参加と関わり

隣人の方々と挨拶を交わし町内会の花壇整備など活動には積極的に参加、地域の方々と顔を会わせ交流を図ることができた。

冬の除雪時期は声を掛け合いながら取り組み自分達でやらなければならないことの一つとして認識されていた。時々、隣人のご協力でスムーズに除雪を行うことができていた。

○健康管理

日頃より世話人がバイタルチェック、ご利用者の表情等に気をつけ体調管理をしっかり行うよう努めていたが、季節の変わり目や疲労がたまってくると体調を崩すご利用者がみられた。

外出後は必ず手洗いうがいを行ない外部から病気を持ち込まないよう働きかけ、インフルエンザ予防接種を受けていたが、3名のご利用者が発症し静養することがみられた。

今年度は4回の健康教育を取り入れ栄養士から嗜好品についてのお話があり再度食生活の見直しができるきっかけとなった。次年度も年4回の健康教育を組み込んで行く。

○避難訓練

今年度は4回の避難訓練（地震想定を含め風災害、ミサイル通過時）を行い消防署への通報訓練と避難場所の再確認をしている。

1. 職員体制

管理者 1名（兼務） サービス管理責任者 1名（兼務）
 世話人 1名（専任） 生活支援員 3名（兼務）
 ※ その他、バックアップ施設職員にて、随時支援を行った。

2. バックアップ施設

障がい者支援施設南幌めぐみ学園

3. 利用者（定員4名）

平成30年3月31日

氏名	市町村	性別	年齢	区分
Aさん	岩見沢市	女	51歳	3
Bさん	江別市	女	64歳	3
Cさん	当麻町	女	49歳	2
Dさん	小樽市	女	48歳	3

4. 行事实施状況

開催年月日	主たる事業の内容
平成29年	
4月 11日	定期健康診断
29日	町内会清掃 2名参加
5月 28日	町内会花壇花植え 4名参加
6月 6日	花見 焼き肉（めぐみ学園前庭にて）
19日 ～20日	道内宿泊研修旅行 層雲峡方面 5名参加
25日	避難誘導訓練（火災想定）
7月 2日	スポーツ大会（めぐみ学園かよえ～るグラウンドにて）
8日	町内会 花壇草取り 4名参加
9日	空知知的障がい福祉協会ソフトボール大会 1名参加
9月 10日	空知知的障がい福祉協会パークゴルフ大会 2名参加
30日	避難誘導訓練（火災想定）

開催年月日	主たる事業の内容
10月 1日	めぐみ学園 学園祭（めぐみ学園体育館にて）
10月 17日 ～20日	道外宿泊研修旅行（四国方面） 3名参加
31日	避難誘導訓練（地震・風水害想定） 避難誘導訓練（ミサイル通過想定）
11月 7日	定期健康診断
12月 17日	ティーボール北の甲子園大会（札幌ドーム） 2名参加
21日	忘年会（めぐみ学園にて）
24日	ハイツひまわり クリスマス会
平成30年 1月 18日	新年会（めぐみ学園にて）

資 料

1. 事業実施経過
2. 職員の配置
3. 利用者の状況
 - (1) 月別在籍者状況
 - (2) 入退所者状況
 - (3) 利用者年齢調
 - (4) 利用期間調
 - (5) 利用者出身市町村調
 - (6) 障害状況
 - (7) 面会状況
 - (8) 外出状況
 - (9) 外泊状況
4. 短期入所・日中一時支援
 - (1) 短期入所利用状況
 - (2) 日中一時支援利用状況
 - (3) 短期入所・日中一時支援利用者市町村調

1. 事業実施経過

開催年月日	主たる事業の内容
平成29年	
4月 1日	開園記念日
11日	健康診断 体育館
20日	空知知的障がい福祉協会 理事会 美唄市 総合施設長
22日	虐待防止研修会 体育館 職員全員 「障がい者の虐待防止について」 講師 ワークつかさ 事業所長 白戸 浩雅氏
28日	環境整備（地域貢献）かよえ～る周辺 南13線周辺
5月 1日	日帰り社会学習 北海道グリーンランド 岩見沢市 利用者46名 職員23名
7日	めぐみ会総会 体育館
11～12日	新任職員マナー研修 札幌市 支援員1名
16日	空知知的障がい福祉協会理事会 美唄市 総合施設長
22日	空知知的障がい福祉協会理事会 美唄市 総合施設長
24～25日	北海道知的障がい福祉協会 総会・全道施設長セミナー 札幌市 総合施設長
24日	北海道知的障がい福祉協会会長表彰 総合活動者 札幌市 小林俊男さん81歳 引率 堀支援員
25日	北海道危険物安全協会表彰 札幌市 総合施設長
31日	安全運転管理者法定講習 栗山町 事務員1名
6月 1～2日	南幌高校インターンシップ 1名
4日	第1回3法人野球・ソフトボール交流会 岩見沢市 総合施設長 支援員3名
6日	交通安全特別運動（地域貢献）啓発用品提供 元JRバス回転場 総合施設長 利用者2名 支援員1名

開催年月日	主たる事業の内容
平成29年	
6月 6日	花見焼肉パーティー
8～9日	日本セルフセンター長会議 東京都 総合施設長
10～11日	北海道移送移動サービス運転協力者講習会 札幌市 支援員1名
13日	北海道民間社会福祉事業職員共済会総会 札幌市 総合施設長
19～20日	道内宿泊研修旅行 層雲峡方面 家族36名 利用者49名 職員22名 計107名
29～30日	北海道就労センター長会議 札幌市 総合施設長
29～30日	強度行動障がい養成研修（実践） 札幌市 支援員1名
30日	北海道介護福祉学校施設実習 4名 7月7日まで
7月 2日	第30回スポーツ大会 かよえ～る グラウンド
3日	夕張高等養護学校体験実習 1名 7月7日まで
4～5日	全国知的障がい関係施設長会議 東京都 総合施設長
4日	社会福祉法人経営セミナー 札幌市 事務員1名
5日	障がい福祉サービス等初任者研修in空知 岩見沢市 支援員1名
9日	空知知的障がい福祉協会 ソフトボールB大会 美唄市 利用者10名 職員6名
10日	地域・相談支援セミナー 札幌市 支援員1名
12日	救命救急講習・喉つまり応急処置研修 講師 南幌消防署員2名 体育館 職員17名
13～14日	防火管理者講習 北広島市 支援員1名

開催年月日	主たる事業の内容
平成29年	
7月 22日	商工会ふれあい祭出店 総合施設長 利用者2名 職員2名
8月 1日	北海道介護学校施設実習1名 4日まで
2日	総務担当者専門研修 札幌市 事務員1名
3～4日	全国福祉施設士セミナー 東京都 総合施設長
3～4日	新任施設相談員研修 札幌市 支援員1名
7日	施設職員スキルアップ研修 札幌市 支援員1名
18日	特定給食施設等運営管理者研修会 岩見沢市 総合施設長
18日	特定給食施設等調理業務担当者研修会 岩見沢市 栄養士1名
22日	福祉スポーツ大会 スポーツセンター
23日	指導監査実施要綱対応セミナー 札幌市 総合施設長 事務員1名
26日	社会福祉法人北海道光生会50周年記念式典・祝賀会 美唄市 総合施設長
26日	虐待防止研修会 札幌市 支援員1名
27日	岩見沢清丘園祭出店 岩見沢市 総合施設長 利用者2名 職員2名
30～31日	福祉専門職キャリアアップ研修 札幌市 支援員1名
31～9/1	強度行動障がい支援者養成研修（基礎）札幌市 支援員1名
9月 2日	岩見沢光明舎祭 岩見沢市 総合施設長
3日	みどり苑まつり 総合施設長
4日	南幌養護学校中学部現場実習4名 8日まで

開催年月日	主たる事業の内容
平成29年	
9月 10日	空知知的障がい福祉協会パークゴルフ南大会 三笠市 総合施設長 利用者12名 職員4名
11～12日	社会福祉法人 ブロック研修 旭川市 総合施設長 事務員1名
15日	南幌町秋祭り 6区子供お神輿
23～24日	全国手をつなぐ育成会北海道大会 札幌市 総合施設長
23日	雪の聖母園祭出店 月形町 利用者1名 職員2名
25日	平成29年度管内栄養士研修会 岩見沢市 栄養士1名
27～28日	利用者の工賃向上と就労支援を考える研修会 帯広市 総合施設長 支援員1名
10月 1日	第30回南幌めぐみ学園祭 体育館
2日	北海道民間社会福祉事業職員共済会業務説明会 札幌市 総合施設長
3日	南幌中学校職場体験実習 2年生 2名 5日まで
4～5日	強度行動障がい支援者養成研修(実践) 旭川市 支援員1名
4～6日	感染症対策研修会 食堂 全職員
8日	ボランティアフェスタ出店 改善センター 総合施設長 利用者2名 職員2名
12～13日	施設相談員専門研修 札幌市 支援員1名
17～20日	道外宿泊社会学習 四国方面 利用者 8名 ご家族6名 職員4名 計18名
21日	えぽフェスタ出店 総合施設長 利用者2名 職員2名

開催年月日	主たる事業の内容
平成29年	
10月 21日	行動援護従業者養成研修 札幌市 支援員1名
23～24日	障がい者虐待防止・権利擁護研修 施設従事者等研修 札幌市 支援員1名
11月 1～2日	福祉専門職スキルアップ研修 札幌市 事務員1名
4日	行動援護従事者養成研修 札幌市 支援員1名
5日	はあとキラキラマーケット出店販売 改善センター 総合施設長 利用者2名 支援員2名
6日	空知知的障がい福祉協会 栄養士研修会 当番施設
7日	定期健康診断 インフルエンザ予防接種 体育館 利用者 職員
9～10日	全国生産活動就労支援部会職員研修会 兵庫県 総合施設長 支援員2名
9日	指定障害福祉サービス事業所等集団指導 岩見沢市 事務員1名 支援員1名
11日	南幌養護学校祭出店販売 利用者2名 支援員3名
11日	行動援護従業者養成研修 札幌市 支援員1名
14日	空知知的障がい福祉協会災害対策研修会 深川市 支援員1名
15日	北海道ソーシャルワーカー協会地域共生セミナー 札幌市 総合施設長
16～17日	強度行動障がい支援者養成研修（基礎）旭川市 支援員2名
16～17日	日中活動支援部会職員研修会 札幌市 支援員1名
26日	社会福祉法人揺籃会40周年祝賀会 深川市 総合施設長

開催年月日	主たる事業の内容
平成29年	
11月 28日	めぐみ会合同研修会 札幌市 講師2名 家族16名 職員8名 計30名
12月 5日	もちつき 体育館
6～8日	サービス管理責任者研修 札幌市 支援員1名
11～13日	日中活動支援部会全国大会 東京都 総合施設長 支援員1名
11～14日	行動援護従事者養成研修 札幌市 支援員1名
12～14日	相談支援従事者研修 札幌市 支援員1名
15日	空知知的障がい福祉協会理事会 岩見沢市 総合施設長
17日	ティールボール北の甲子園大会 札幌市 総合施設長 家族10名 利用者14名 職員6名 計31名
21日	忘年会 体育館
平成30年	
1月 1日	初詣 南幌神社 総合施設長 利用者15名 職員6名
10～11日	強度行動障害支援者養成研修（基礎） 札幌市 支援員2名
15～16日	北海道施設士研修会 札幌市 総合施設長 支援員1名 事務員1名
18日	新年会 体育館
20日	行動援護従業者養成研修 札幌市 支援員1名
27日	行動援護従業者養成研修 札幌市 支援員1名
30～31日	幹部職員研修会 札幌市 支援員1名
2月 3日	節分

開催年月日	主たる事業の内容
平成30年 2月 3日 9日 10日 13～14日 15日 19～20日 21日 3月 3日 7～8日 8～9日 14～15日 20日 27日	行動援護従業者養成研修 札幌市 支援員1名 食品衛生責任者養成講習 札幌市 支援員1名 行動援護従業者養成研修 札幌市 支援員1名 強度行動障害支援者養成研修（基礎） 札幌市 支援員2名 社会福祉法人経営実務セミナー 札幌市 総合施設長 事務員1名 サービス管理責任者向け研修 札幌市 支援員1名 北海道知的協会災害対策委員会 札幌市 総合施設長 ひな祭り会食 社会就労センター施設長研修会 札幌市 総合施設長 空知知的協会宿泊幹事会 夕張市 支援員2名 全道施設長研修会 札幌市 総合施設長 園内レクリエーション 体育館 障害福祉サービス報酬改定説明会 岩見沢市 事務員1名
毎月 実施事業	生活懇談会 買物実習 調理実習 身体測定 血圧測定 北広島メンタルクリニック医師問診 歯科ブラッシング指導 職員会議 支援員会議 給食会議 避難訓練 防災点検 各種スポーツ指導 日赤奉仕団・ボランティア交流

2. 職員の配置

平成30年3月31日

職名	常勤職員	非常勤職員	計
施設長	1		1
事務員	2		3
サービス管理責任者	2		2
支援員	18	5	23
世話人	1		1
看護師	1		1
栄養士	1		1
医師		1	1
計	26	6	32

4. 利用者の状況

(1) 月別在籍者状況

月別 区分	29年												30年	合 計 (人)	
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
初日 在籍者	入所	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	48	48	48	585
	通所	13	13	13	13	12	12	12	12	12	12	13	12	12	149
入 所 者	入所														0
	通所											1			1
退 所 者	入所									1					1
	通所				1							1			2

(2) 入退所者状況

新規入所者数	退 所 者 数						
	社 会 復 帰	帰 宅	長 期 入 院	施 設 替 え	死 亡	そ の 他	合 計
入 所		1					1
通 所		2					2

(3) 利用者年齢調

平成30年3月31日現在

年齢区分	入 所			通 所			
	男	女	計	男	女	計	
15歳～19歳					1	1	入 所 通 所
20歳～24歳	1		1				最小年齢 入所 通所
25歳～29歳		2	2	1		1	男 22歳9ヶ月・29歳4ヶ月
30歳～34歳	1	1	2	2	2	4	女 30歳6ヶ月・17歳0ヶ月
35歳～39歳	4		4				最高年齢
40歳～44歳	11	4	15				男 82歳4ヶ月・50歳8ヶ月
45歳～49歳	6	6	12		2	2	女 70歳7ヶ月・64歳7ヶ月
50歳～54歳		3	3	1	2	3	平均年齢
55歳～59歳		2	2				男 46歳9ヶ月・36歳0ヶ月
60歳以上	3	4	7		1	1	女 50歳1ヶ月・42歳6ヶ月
計	26	22	48	4	8	12	男女平均年齢 41歳5ヶ月・46歳4ヶ月

(4) 利用期間調

平成30年3月31日現在

期間区分	入 所			通 所		
	男	女	計	男	女	計
1年未満				1		1
1年～2年未満	1		1			
2年～3年未満	1	1	2		1	1
3年～4年未満	2		2			
4年～5年未満						
5年～10年未満	2	1	3	2	1	3
10年以上	20	20	40	1	7	8
合 計	26	22	48	4	9	13
平均利用期間	22年6ヶ月	20年1ヶ月	21年4ヶ月	8年 0ヶ月	7年3ヶ月	7年7ヶ月
最高利用期間	29年11ヶ月	29年11ヶ月	29年11ヶ月	13年11ヶ月	14年8ヶ月	

(5) 利用者出身市町村調

平成30年3月31日現在

市 町 村	入 所			通 所		
	男	女	計	男	女	計
札幌市 東区	1	1	2			
札幌市中央区		1	1			
札幌市厚別区	1		1			
札幌市 北区	1		1			
札幌市白石区		1	1			
札幌市清田区		1	1			
札幌市豊平区	1		1			
北 広 島 市	2	3	5			
江 別 市	4	5	9	1	1	2
小 樽 市		2	2		1	1
夕 張 市		1	1			
網 走 市		1	1			
北 見 市	1	1	2			
岩 見 沢 市	2	1	3		3	3
南 幌 町	8		8	3	2	5
栗 山 町		1	1			
長 沼 町	1		1			
新 篠 津 村	1		1			
妹 背 牛 町	1		1			
愛 別 町	1		1			
岩 内 町	1		1			
余 市 町		1	1			
苫 前 町	1		1			
釧 路 町		1	1			
平 取 町		1	1			
当 麻 町					1	1
計	26	22	48	4	8	12

(6) 障害状況調

平成30年3月31日現在

☆ 疾患状況

障害疾患名	入所			通所		
	男	女	計	男	女	計
聴力障害	1		1			
視力障害	2		1			
四肢・体幹機能障害	1	3	4	1	1	3
言語障害	4	3	7			
てんかん	6	6	12	3	2	7
精神科疾患・統合失調症	6	8	14		1	1
高血圧	2	2	4	1	1	2
低血圧	1		1			
糖尿病	1		2	1		1
骨疾患	1	3	4			
腎臓疾患	1	1	3	1		1
肝臓疾患	2	1	3			
心臓疾患	2		2			
甲状腺疾患		2	2			
皮膚疾患	12	11	33		2	2
パーキンソン症候群						
自閉症（傾向）	11	5	16	4	2	6
ダウン症	3	3	6	1	1	2

☆ 知能指数

知能指数(程度)	入所			通所		
	男	女	計	男	女	計
測定不能(全介助を必要)	1	1	2	1		2
I Q 3 5 以下(常時介助を必要)	20	12	32	2	1	3
I Q 3 6 ~ 4 9 (介助指導を必要)	2	8	10		3	3
I Q 5 0 以上(一部介助指導必要)	3	1	4	1	4	5
計	26	22	48	4	8	12

(7) 面 会 状 況

南幌めぐみ学園

回 数	男	女	合 計
5 回 以 上	0 人	1 人	1 人
4 回	1 人	1 人	2 人
3 回	0 人	0 人	0 人
2 回	0 人	0 人	0 人
1 回	2 人	0 人	2 人
面 会 な し	23 人	20 人	43 人
計	26 人	22 人	48 人

ハイツひまわり

回 数	男	女	合 計
5 回 以 上	0 人	1 人	1 人
4 回	0 人	0 人	0 人
3 回	0 人	0 人	0 人
2 回	0 人	1 人	1 人
1 回	0 人	1 人	1 人
面 会 な し	0 人	2 人	2 人
計	0 人	5 人	5 人

(8) 外出状況

南幌めぐみ学園

回数	男	女	合計
30回以上	1人	0人	1人
20～29回	0人	0人	0人
10～19回	0人	0人	0人
5～9回	0人	0人	0人
1～4回	11人	13人	24人
なし	15人	9人	0人
計	27人	22人	49人

ハイツひまわり

回数	男	女	合計
30回以上	0人	0人	0人
20～29回	0人	0人	0人
10～19回	0人	2人	2人
5～9回	0人	1人	1人
1～4回	0人	2人	2人
なし	0人	0人	0人
計	0人	5人	5人

(9) 外泊状況調

☆ 外泊回数

南幌めぐみ学園

回 数	男	女	合 計
30 回 以 上	4 人	0 人	4 人
20 ~ 29 回	3 人	0 人	3 人
10 ~ 19 回	6 人	3 人	9 人
5 ~ 9 回	5 人	5 人	10 人
1 ~ 4 回	5 人	11 人	16 人
な し	4 人	3 人	7 人
計	27 人	22 人	49 人

※ 最高外泊回数 48回

ハイツひまわり

回 数	男	女	合 計
30 回 以 上	0 人	0 人	0 人
20 ~ 29 回	0 人	0 人	0 人
10 ~ 19 回	0 人	0 人	0 人
5 ~ 9 回	0 人	0 人	0 人
1 ~ 4 回	0 人	3 人	3 人
な し	0 人	2 人	2 人
計	0 人	5 人	5 人

※ 最高外泊回数 4回

☆ 外泊期間

南幌めぐみ学園

日 数	男	女	合 計
4 1 日 以 上	1 1 人	4 人	1 5 人
3 1 日 ~ 4 0 日	4 人	2 人	6 人
2 1 日 ~ 3 0 日	3 人	2 人	5 人
1 1 日 ~ 2 0 日	4 人	3 人	7 人
1 日 ~ 1 0 日	1 人	8 人	9 人
な し	4 人	3 人	7 人
計	2 7 人	2 2 人	4 9 人

※ 合計宿泊数 1, 6 3 8 日

ハイツひまわり

日 数	男	女	合 計
4 1 日 以 上	0 人	0 人	0 人
3 1 日 ~ 4 0 日	0 人	0 人	0 人
2 1 日 ~ 3 0 日	0 人	0 人	0 人
1 1 日 ~ 2 0 日	0 人	1 人	1 人
1 日 ~ 1 0 日	0 人	2 人	2 人
な し	0 人	2 人	2 人
計	0 人	5 人	5 人

☆ 入院による外泊

南幌めぐみ学園

男性	A (男)	B (男)	C (男)	D (男)	計
入院回数	1 回	回	回	回	1 回
入院日数	3 1 日	日	日	日	3 1 日
主 病	精神科 服薬調整				

女性	A (女)	B (女)	C (女)	D (女)	計
入院回数	回	回	回	回	回
入院日数	日	日	日	日	日
主 病					

5. 短期入所・日中一時支援

(1) 短期入所利用状況

	29年												合 計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	30年			
										1	2	3	
実人員	3 (7)	4 (6)	3 (6)	4 (7)	3 (4)	2 (4)	3 (6)	4 (4)	6 (5)	7 (4)	3 (4)	3 (7)	8 (13)
延日数	45 (74)	46 (72)	40 (64)	44 (71)	45 (59)	31 (51)	35 (59)	50 (48)	93 (56)	79 (47)	40 (48)	49 (49)	597 (698)

※ 下段 () は昨年度実績

(2) 日中一時支援利用状況

	29年												合 計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	30年			
										1	2	3	
実人員	5 (9)	6 (10)	5 (10)	3 (7)	3 (6)	4 (6)	5 (7)	5 (8)	2 (5)	4 (6)	3 (7)	1 (4)	9 (11)
延日数	13 (44)	8 (45)	5 (59)	6 (48)	5 (49)	8 (37)	9 (33)	6 (40)	5 (25)	6 (29)	6 (46)	2 (25)	79 (480)

※ 下段 () は昨年度実績

(3) 短期入所・日中一時支援利用者市町村調

区 分	市 町 村							合 計
	岩見沢	江別市	南幌町	北広島市	当麻町	千歳市		
短期入所	3 (3)	2 (2)	2 (5)	0 (0)	0 (1)	1 (1)	8 (13)	
日中一時支援	4 (5)	2 (4)	1 (2)	1 (0)	0 (1)	1 (1)	9 (13)	
実 人 員	5 (8)	3 (8)	2 (3)	1 (0)	0 (2)	2 (1)	13 (23)	

※ 下段 () は昨年度実績